



# 東俣野特別支援学校

電話 045-851-9631

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/higashimatano/>

## 「人間万事塞翁が馬」

学校長 福島 豊

年度初めは「自己紹介」をすることが多くあります。その中で「好きな言葉」「座右の銘」を聞かれることがあります。そのような時、最近「人間万事塞翁が馬」（にんげん くじんかん）ばんじさいおうがうま」という故事成語を言うようにしています。この故事成語の元の話は、中国の古い書物「淮南子（えなんじ）」に書かれています。

中国の北の方に占い上手な老人が住んでいました。さらに北には胡（こ）という異民族が住んでおり、国境には城塞がありました。ある時、その老人の馬が北の胡の国の方角に逃げ去ってしまいました。この辺の北の地方の馬は良い馬が多く、高く売れるので近所の人々は気の毒がって老人をなぐさめに行きました。ところが、老人は残念がっている様子もなく言いました。「このことが幸福にならないとも限らないよ。」そしてしばらく経ったある日、逃げ出した馬が胡の良い馬をたくさんつれて帰ってきました。そこで近所の人たちがお祝いを言いに行くと、老人は首を振って言いました。「このことが災いにならないとも限らないよ。」しばらくすると、老人の息子がその馬から落ちて足の骨を折ってしまいました。近所の人たちがかわいそうに思ってなぐさめに行くと、老人は平然と言いました。「このことが幸福にならないとも限らないよ。」1年が経ったころ胡の異民族たちが城塞に襲撃してきました。城塞近くの若者はすべて戦いに行きました。そして、何とか胡人から守ることができましたが、その多くはその戦争で死んでしまいました。しかし、老人の息子は足を負傷していたので、戦いに行かずに済み、無事でした。

この故事成語は「人生における幸不幸は予想しがたい」ということです。長い人生では楽しい事や嬉しい事もあれば、辛い事や悲しい事もあります。人生の経験で無駄なものなど一つもありません。今年度もどのような事が起きても一喜一憂せず、右往左往しないで動じず、準備をしっかりと臨んでいきたいと思っています。